

アジア・アパレルものづくりネットワーク
2月27日～3月2日都内で秋冬向け展示会

リアルな商談を重視

アジア・アパレルものづくり
ネットワーク(AAP)は2月
27日～3月2日、オーダー・オ
ブ・メリット・プランニング
(東京都渋谷区)のイベントホ

ールで18～19年秋冬向けの展示
会を開催する。バングラデシ
ユ、ミャンマー、カンボジア、
ベトナムなどアジアでの物作り
を打ち出すもので、製品60点の
ほかテキスタイル、副資材も展
示する。

出展参加企業は11社(小島衣
料、サンウエル、サンテイ、第
一織物、高間、東海サーモ、プ
リセット五島、養島刺繍、湯峰

ソーイング、レナンミツアキ、
ロックス)で、出展協力企業2
社、応援スポンサー企業12社の
合計25社が参画する。

AAPは11年の設立で、会員
企業は現在56社。昨年7月に設
立7周年を記念するシンポジウ
ムを開催し、当初予定の150
人を大きく上回る260人が来
場した。シンポジウムの来場者
から「実際の商品を見てみたい
との声が出た」こともあって、
展示会を開催することにした。
AAPが展示会を開くのは12、
13年に続いて3回目。「従来は
AAPの広報活動やアジアでの

生産機能の紹介が主だったが、
今回は企業と顧客とのリアルな
商談を重視する。百貨店、ア
パレル企業、セレクトショップ
など約150社、300人の来
場を見込んでいる。